

# 学校関係者評価結果を受けた改善について

小郡市立立石中学校

## I 未来へ向かう「心」の育成について

評価結果	改善の具体的方策
<ul style="list-style-type: none"><li>・小学生、中学生ともに、素直な心でのびのび成長している。</li><li>・小学生、中学生ともに高い数値になっていて地域を含めた取組が子ども達にとって有効なものになっていると感じる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教育相談や月アンケート、さらにSC、SSW、関係機関との連携を図りながら、今後も丁寧に生徒に接していく。</li><li>・小学生や地域との交流を通して、自己存在感や自己有用感を高めていく。</li></ul>

## II 生きて働く「知」の育成について

評価結果	改善の具体的方策
<ul style="list-style-type: none"><li>・とくに低位層に対する取組が丁寧に行われていると思う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「誰一人取り残さない授業づくり」を、研究推進部を核として推進していく。</li><li>・低位層の子どもたちについての情報共有を行い、補充学習等の手だてを組織的・計画的に行っていく。</li></ul>

## III 健康で逞しい「体」の育成について

評価結果	改善の具体的方策
<ul style="list-style-type: none"><li>・小学生、中学生ともに、自然に恵まれた地域だけに体力づくりはできていると思う。</li><li>・部活動を通して体力向上ができています。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・保健体育の授業や部活動を通して、運動好きの生徒を育てていく。</li><li>・駅伝練習においては、多くの生徒に声かけを行い、その子に応じた練習内容で体力向上及び健康促進を図っていく。</li></ul>

## IV 地域とともにある学校づくりについて

評価結果	改善の具体的方策
<ul style="list-style-type: none"><li>・小中学校ともに、地域の方に来てもらったり地域に出かけたりして学習ができていると思う。</li><li>・地域の協力をもっと広げるとよい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の教育資源をさらに開発し、地域の人と一緒に学ぶ環境をつくっていききたい。</li><li>・学校と地域をつなぐコーディネーターの発掘とその役割（地域学校協働活動）の確立が必要である。</li></ul>

## V ICT活用力の育成について

評価結果	改善の具体的方策
<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用は進んでいると思う。さらに続けていってほしいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中で子どもたちが使いたいとき、調べたいときに使えるような授業づくりを行っていく必要がある。</li> <li>家庭学習(予習・復習)に活用できるようなソフトの導入の検討が必要である。</li> </ul>

## VI 個に応じた学びの充実について

評価結果	改善の具体的方策
<ul style="list-style-type: none"> <li>中1ギャップがおきないように小6との交流をしてもらってありがたい。</li> <li>小中学校ともに、少人数で丁寧に指導してもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中一貫教育校のよさを生かし、小中学校の交流を継続していく。</li> <li>生徒一人ひとりの実態を把握し、全職員で情報を共有しながら、個に応じた指導を継続して行っていく。</li> </ul>

## VII 教職員の資質向上の推進について

評価結果	改善の具体的方策
<ul style="list-style-type: none"> <li>小中ともに高い評価になっており、先生達が自己評価をして高い数値になっているのは、学校における指導体制や協働体制に満足している結果だと思う。</li> <li>小中参観週間、小中合同研修を何度も実施されているので向上している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員がお互いのことを知ることができるような研修を企画する。そうすることで、日頃から安心して何でも言える(相談等)雰囲気づくりを行う。</li> <li>小中合同研修会等を通して、小中学校の授業をお互い参観することで、授業改善を図っていく。</li> </ul>

## VIII 小中9年間を見通した指導体制の充実について

評価結果	改善の具体的方策
<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度より小中一貫教育校として行事を一緒に行うことでお互いにとってよい刺激を受けたものになっていると思う。</li> <li>小中合同研修で各部・教科での相互理解がなされる体制の充実になっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育目標である「郷土を愛し、自分で考え、自ら行動する子ども」の姿に向かって小中学校の教職員が一丸となってすべての教育活動を行っていく。</li> <li>次年度の小中合同研修会では、小中学校の教職員が日頃の取組について交流する時間を多くとり、教職員が主体的に小中一貫教育を進めることができるようにしたい。</li> </ul>

## Ⅸ 働き方改革の推進について

評価結果	改善の具体的方策
<ul style="list-style-type: none"><li>・働き方改革については、部活動や小中一貫以外の様々な行事等を包括的に考えていく必要があると思う。</li><li>・中学校の先生には推進をすすめていただいているが、子どもを指導してくれるのはありがたい。第三者の大人に構ってもらえる（愛情をいただける）のはとてもいいことだと思う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもと向き合う時間は、これまで通りしっかりと確保していきたい。その中で、勤務の状況や業務改善の効果的な取組等の話し合いを全職員で持ち、組織的な改善を図っていきたい。</li></ul>

## Ⅹ 人権・同和教育の啓発推進について

評価結果	改善の具体的方策
<ul style="list-style-type: none"><li>・9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間のカリキュラムは推進になっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・小中合同研修会を通して、小中9年間の人権カリキュラムを作成し、9年間を計画的に指導していきたい。</li><li>・保護者人権学習参観では、保護者はもちろん地域の方にも参加していただいている状況である。保護者啓発においては、今後も継続的に行っていく。</li></ul>